

# 私たちの 「まちづくり」計画



港、ふれあいのまち城乾  
【城乾コミュニティ】

# 城乾地区の未来は... 「歴史と文化と創造にあふれるまちづくり」 ...協創でつながる まち

## 私たちのまちは...

### 1. 地域の概況は...

私たちのまち城乾は、丸亀市の北部、丸亀城の乾（いぬい、北西）の方角に位置し、北は、その昔「こんぴら」参詣をはじめ、船の出入りで賑わった海の玄関「丸亀湊」に面し、南に向かっては、こんぴら街道や藩政時代にゆかりの寺社のある地区へと連なっています。東西、南北とも約 1.1km の地域で、その地勢は、北（海岸部）から南（市街地）に向かって地域を構成し、まちの形成・変遷を経て、現状は、おおよそ次のとおりです。

町 別	地区の形成	地区の状況
港 町	明治以降、塩田跡を造成した海岸沿いの地域	工場・倉庫を主体に、飲食店等の営業施設もある。住家は、浜街道沿いの一帯等に数十軒が所在する。（造成地のため、液状化・浸水等災害時の問題が懸念される。）
西平山町	古くからの街区で、住宅街を縫う道路は狭隘である。	住家や生活関連商店が混在する。江戸後期整備された新堀港が福島港とともに、海上交通の拠点として賑わったが、今は衰退している。太助灯籠等昔を偲ぶものも多く残る。（災害時の対応が懸念される。）
通町	古くからの商業街区	住民の世代分離、郊外転出、大型店の進出等で商店街の利用客が減少し、戸を閉ざす店舗が増加、関係者は今再生に腐心している。
南条町	古くからの街区	藩政時代にゆかりの寺がある「こんぴら街道」沿いの古い町で、住家、生活関連商店が混在する地域。最近、地域にマンションが建設された。
福島町、新町	江戸時代、塩屋方面から東に延びた州浜に町が形成され福島町となった。また、明治から大正初期にかけ、西汐入川の付替え、河口の埋立により新町ができた。	福島湛甫から明治後期に改修された丸亀港へと、海上で訪れる旅客で賑った昔の面影はない。若い世代の流出等で高齢世帯が多く、一部マンション・アパート等の居住者を除いて、子供の姿もあまり見られない。また、マンション等、住民の地域との連帯（自治会加入）が問題。生活関連商店等も比較的少ない。
西本町	古くからの街区（多度津への街道沿いの町）	かつては商店も比較的多かったが、今はその数は減少し、空家、空地が処々に見られる。住家が主体の町。一方、マンション、アパートが数棟あり、住民の連帯（自治会加入）が十分でないところがある。
幸 町	比較的新しく形成された街区（昭和 39 年、丸亀市庁舎が大手町に移転）	病・医院、幼稚園等のある住家を主体にした地域。城乾小学校北側の県道拡幅に伴い、一部街区整備がなされたが、住居地域としての地域状況に変わりはない。
新浜町（大型量販店除く）	地区の北部は、明治頃まで海であった（遍照寺裏あたり）が、次第に造成された地域。 藤井高校の南から東についても、かつて池や石炭殻の捨場等であったところが宅地に造成された。	藤井高校の北側筋の狭い道路に沿って住宅が並ぶ。かつて、中央開墾塩業・うちわ生産に関わる人々が多く住んでいたが、製塩技術・地域産業の変遷等により、生活態様も変わってきた。中央開墾塩業の工場・塩田跡地も工場誘致のため造成され、新浜町に大規模量販店が進出し、新・改築された建物もあるが、町並みそのものは変わらない。

## 2. 地域の人口・世帯は...

地域の世帯・人口は年々漸減の傾向にあります。また、職業・世帯分離などの理由で壮年世代や子供が減る一方、高齢者世帯や独居高齢者は増加し、高齢化率は次第に高くなりつつあります。

	常住人口及び世帯数		自治会加入世帯数
	人口	世帯数	
平成13年	3,156人	1,407世帯	1,103世帯
平成19年	3,441人 (うち新浜町618人)	1,666世帯 (うち新浜町303世帯)	1,062世帯 (うち新浜町194世帯)
比較	109.0%	118.4%	19年加入率 63.7%
1世帯の平均人口 約2.1人		(平成19年10月現在)	

(参考)

平成19年、新浜町地区が城乾地域に編入した。

平成17年度の校区高齢者・長寿者状況(校区人口5,493人)

・高齢者数(65歳以上)・・・1,479人：人口比26.9%

・長寿者数(75歳以上)・・・754人：人口比13.7%

城乾小学校・・・児童数275名、学級数13(平成19年4月現在)

地区の独居高齢者の現況(平成19年2月 民生委員調査参照、人口は平成19年10月市統計)

町別 (地区別)	独居高齢者数	人口(市統計)	比率%	町別 (地区別)	独居高齢者数	人口(市統計)	比率%
港町	2	32	6	福島町	26	552	5
西平山町	43	528	8	西本町	40	812	4
通町	14	220	6	幸町	24	451	5
南条町	9	150	6	新浜町	38	618	6
新町	8	78	10	合計	204	3,441	6

注：「比率」は、人口に対する独居高齢者数の比を示す。

地区の世帯数1,666世帯に対する独居世帯数(独居高齢者数と同)の割合は、12%程度である。

## 3. 地域の商工業等は...

社会情勢の変化や、経済動向の推移により、地域の商工業等は衰退傾向にあるようです。その傾向が目立つ通町商店街では、かつて市内商業の中心であった景況に少しでも戻すことを目指し、活性化に一生懸命取り組んでいます。容易ではないようです。

地域内では、港町には、製薬所、鉄工業、冷凍倉庫等が事業展開しており、その他の地域においても、大型量販店や、建設・鉄工等の事業所、飲食店など、生活関連の商業店舗などがあります。

# 見なおそう 私たちのまち…

1. 城乾地域は海に面し、藩政時代から昭和にかけて形成されたまちです。埋立や造成等により次第に発展してきた地区や、藩政時代からの商業の中心であった地域、又、藩侯等に縁の深い寺社を有する街区、そして、農地の住宅転用により形成された地域等から成り立っています。その「私たちのまち」を、もう一度見なおしてみましょう。

## “海の玄関「丸亀湊」”

ここから続く「こんぴら」街道。藩政時代から昭和にかけて、参詣客などで賑わった街筋。今も太助灯籠や常夜灯などに往時を偲ぶことができる。



こんぴら（丸亀）湊のおもかげ…



港に臨んで立つ太助灯籠



新堀湛甫の今



こんぴら船に因む遊具

## “藩政時代にゆかりの深い寺社など”

京極家菩提寺の玄要寺、山崎家菩提寺の寿覚院、京極藩政時代の才媛「井上 通女」の墓所がある法音寺、新堀湛甫の開設や丸亀うちわの普及に功績を残した丸亀藩士「瀬山 登」が葬られている宗泉寺がある。また、新たに拓けた福島の弁財天・天満宮をあわせ祀った現在の一寸島神社(通称「弁天神社」)や、新堀湛甫の近くの金毘羅宮参拝所になった玉積神社など、藩政当時から寺社が多く点在する。昔、浜町に祀られた船魂神社が、山北八幡神社の仮宮を経て、近年、港を跨ぐ京極大橋の袂に遷宮され祀られることになった。西幼稚園の南東には、京極家六代高朗侯の墓所が祀られている。新浜町の東端に位置する遍照寺には、明治後期から大正時代にかけて、向学の子弟への教育の場として「鶏鳴学館」が設けられていたが、学校教育の整備に伴いその役割を変え、南条町に移転した。そのほかにも、昔からの由緒を残すところが処々にある。



港の整備や産業振興に貢献した「瀬山 登」の像



地区の開発とともに祀られてきた一寸島神社



山崎家菩提寺の寿覚院



「井上通女」の墓所がある法音寺



京極高朗侯の墓所



鶏鳴学館のあった遍照寺



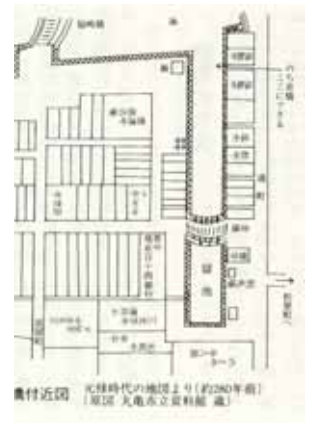
宗泉寺…瀬山 登が眠る

## “賑わいのあった街”

商家が並び、昭和時代にかけて、市内中心街として賑わった通町、この通町の南に、京極藩政当時の藩札を扱う銀札場があったと伝えられ、経済活動の中心であったことがうかがえる。



復活を願う商店街



通町付近の古地図

しかし、ダイエー（H10）、イレブン（H14）など、大・中規模量販店の地域からの撤退が商店街の衰退に拍車をかけ、シャッターを閉ざす店が増えた。残った商店経営者は、地域再生に努力を傾け、由緒ある商店の活用や、折々の催しに人を呼ぶ工夫も次第に根付き、賑わいの兆しがみられる。

## “浜街道を挟んで大型店の進出”

新浜町は、製塩業に関係の深い地区である。東西に延びる町並みの北、蓬萊町（城坤地区）には、製塩工場・塩田が広がっていたが、製塩法の改良に伴い姿を消し、経済成長の時流によって工場用地に変容した。一部活用されず残っていた用地も、近年、量販店、大型電気店、ゲームセンター、飲食店等が進出し、浜街道を挟んで、新浜町・蓬萊町は買物客などで賑わっている。工場立地という当初の目的とは違ったが、地域の活性化に貢献していると思われる。

## “変る「まち」”

道路交通の円滑化、安全対策として、JRが高架化され、新町地区の町並みは、その半分近くに減った。丸亀駅の北口広場は、南口広場に比べて駅玄関口としては少し淋しいが、近くには高層マンションが建ち、地域の雰囲気も変わってきた。丸亀湊にゆかりの常夜灯が移設され、海の玄関であったことを示している。



駅北から新町筋へ



城乾小学校

京極通りから西幼稚園、城乾小学校の北を西に向う県道が拡幅され、その工事に伴い、小学校が改築され、継続した体育館の改築、校庭の夜間照明などの整備が進み、その斬新な校舎の姿が人々の目をひく。

## “街には賑やかな人の声が… 今は…”

かつては、複数世代の家庭が多く、近所同士の人々の語らい、「お醤油ちょっと貸して…」 「ああ、ええで、持っていきな。」などと気軽に声を掛け合った。子供たちは、戸外で歓声をあげて駆け回り、街には活気があった。しかし、経済発展、社会情勢の変化に伴い世帯分離が進み、交通・職業等の関係で転出する人も増え、世帯減少、児童は減り、高齢者が漸増し、地域は今、典型的な少子・高齢化社会になっている。地域の学校、城乾小学校も、かつては1500名もの児童が学ぶマンモス校で、氣勢があがったものであるが、今はその五分の一ほどの児童しかいない。

## 2. このまちの課題は...

### 高齢化に向き合って...

高齢者世帯、独居高齢者の日常の安否、異常の早期発見など、支援体制の充実が必要。近所同士、自治会、また、市の委嘱を受けた福祉保健推進委員などのネットワークが十分機能するよう、日頃からの連携・意思疎通を深めることが大事。

地域の自治会加入割合は64%で、「地域福祉・安心安全のまちづくり」の観点から問題が残る。

万一、災害が発生したとき、救出・避難誘導等も中堅世代に頼れるとは限らず、老々助け合うことを余儀なくされることが考えられる。自主防災組織の地域間連携が必要な場合も考慮して、平生からの体制強化が必要。

医療・介護の制度は、サービスの変更、負担の増加など、高齢者にとって厳しくなっている。



敬老会に集まる高齢者の方々



いざ、災害に備え避難訓練



健康づくり ハイキング

医療・介護サービスを受ける前に、高齢者自らが、健康・体力維持を図り、自立できることに重点をおくように変わった。

高齢者自らの努力と、コミュニティでもこれを支援する保健活動の実践が必要である。

### 青少年を健やかに...

青少年にかかわる犯罪の多発も重大な社会問題。未来を託す青少年が心身ともに健全に成長するよう、教育機関と協力し、地域としての子供たちの見守り、防犯支援が必要。平成17年から、防犯パトロール隊の活動を開始、下校時の児童の安全を図ることにした。



体力テストに挑む 元気な子たち

### 災害に備えを...



平成16年8月台風16号による高潮災害に  
...空地に運び出された家具など

いつ見舞われるか知れぬ災害、平成16年に発生した台風16号による高潮災害。予想もなかった被害に、自然災害への備えの必要性を痛感した。これが弾みとなって、自主防災組織の発足となり、体制を整えているが、なんといっても住民の意識が第一。防災訓練などの機会をとおして、意識啓発を図っていかねばならない。

## ひと、まちに元気を...

高齢化するまち、シャッターを下ろした商店の増加など、地域の活気が失われていくなか、市街地再開発、商店街の活性化を訴える声が高まっているが、容易なことではない。趣向をこらした催しなど人々が寄り集う機会が増えれば、活性化のきっかけになるうか。「ふれあいまつり」をはじめコミュニティの行事も、人々をひきつけることを考えることが必要。



盛り上がる ふれあいまつり

## 地区の課題...人々の感じていること など（各自治会のアンケート等の意見から）

地区の課題	人々の感じていること	対応策など
高齢化問題	地域の人々の高齢化、自然減（死亡）による過疎化 防災・防犯対策の懸念（要介護者の災害援護） 高齢者の交通事故 中堅世代が少なく災害時等の対応懸念、地域行事等の運営困難 高齢者の医療・介護問題、遊休地活用による老人施設開設 中堅世代の導入＝マンション等の開発＝少子化対策にも	<b>支えあいの絆を強く 人が増える方策を</b>
地域整備問題	新町・福島町を南北に抜けて浜街道に接続する幹線道路の整備 古い町並みの幅員の狭い道路は緊急時に問題（西平山町、福島町など） 駅北口の整備、競艇バスパーキングの活用 商店街等区域の再編＝行事・活動連携の円滑化（通町と他町商店街との連携）	<b>商店街の再生、活性化 地域整備・マンション等 集合住宅の導入＝地域活性・人口増加期待</b>
災害対策問題	高潮対策（海岸線等は整備が図られたが、川の上流の護岸整備等未了） 高齢者のみの生活時間帯の災害対策体制	<b>居住者の勤務等を考慮した 防災体制の整備 支えあいの絆を強く</b>
生活環境・交通安全問題	交通騒音・振動・ラッシュ時の交通渋滞対策（西平山町浜街道交差点付近） 市街地の暴走族の横行 高齢者・児童等の交通安全（通学路の交差点での安全確保） 児童に関する犯罪の抑止 高齢者に関する生活犯罪の防止	<b>地域での児童の見守り、 防犯パトロールの強化 交通安全、防犯意識の啓発</b>

## さあ、みんなで、わたしたちの「まちづくり」を…

わたしたちの「まちづくり計画」は、地域の課題と、丸亀市が新しい時代に対応したまちづくりを進めていくための指針として策定した総合計画の目指すところを考慮した。

また、城乾コミュニティの活動の目的とする、  
「…快適で安全な生活環境、健康で文化的な生活を目指し、  
支え合い、助け合い、あたたかさを感じる『まちづくり』の推進…」  
に沿ったものとする。

### まちづくりのキーワード「協創」

市の総合計画の基本構想に示された、まちづくりの基本理念は、  
「協創でつながるまち丸亀」。

「協創」とは、まちづくりにかかわるすべてが、協力してまちを創り  
上げるという意味。＝まちづくりのキーワード

「人と人との協創」＝「助け合い」

「自然や歴史、まちの協創」＝「交流」

「市民と行政の協創」＝「役割分担」

また、「五つの政策の柱」として、次の項目が掲げられている。

身近な自然と歴史文化を未来へ伝えるまちを創る。

日常生活が営みやすくにぎわいと活力のあるまちを創る。

誰もが健康で安心して暮らせるまちを創る。

心豊かな人が育ち誰もが生きがいを感じるまちを創る。

自治・自立のまちを創る。

目 標	現況・課題	まちづくりは、こんなことから	協力団体・機関
人々の絆をつよく、あたたかさのある「まち」に…	地域の高齢化や閉じこもりがちな高齢者の孤独化	自治会は、もっとも身近な人々の絆。日頃から、近所同士・自治会内で、声を掛け合い助け合うことを心がける。（一声挨拶を交わすのも、人々の絆を強くし、心にあたたかさを感じる。）	民生委員を含めた連携
		福祉保健推進委員の活動を活発化し、必要に応じて日常生活の手助け（ゴミだし支援など）や、健康・医療・介護・福祉等のサービス紹介、関係機関への連絡等の支援をする。	
		近隣の人々で、一人住まいの高齢者等の家庭状況の変化に気をつけ、異常を発見したときは、迅速な対応により、事故の防止を図る。（郵便物等がたまっているなど）	



目 標	現況・課題	まちづくりは、こんなことから	協力団体・機関
安心、安全な 「まち」に...	少子化の社会で、次世代を担う児童が被害にあう犯罪の頻発、また、青少年の非行問題	児童に対する犯罪を抑止するため立ち上げた、防犯パトロール隊の活動をさらに進めるとともに、地域の人々にも、日頃の見守り、声かけで、児童の安全をはかるよう協力を求める。	小学校、 小学校 PTA
		青少年の非行は、放置すれば重大化することが危惧される。これを未然に防止し、青少年の健全な成長を図るため、非行の状況を見かけたときは、関係機関に通報、指導を求める。	少年育成センター 警察署(交番)
	振込め詐欺など高齢者に対する犯罪の多発	近所同士、地域での目配りで、高齢者の犯罪被害の防止を図る。防犯パトロール隊の活動の一環として、高齢者・女性等が街頭犯罪に遭わぬよう注意する。  コミュニティの生活環境安全対策として、随時、防犯意識の啓発活動(文書、講習等)を行う。	
・通学路・交差点等での児童の安全 ・高齢者の交通事故被害の増加		登校時間の交差点立哨活動を継続的に行い、事故防止を図る。下校時には、防犯パトロールにあわせて交差点横断の安全誘導を行う。  なお、児童に対する交通安全指導の適時実施を小学校に要請する。	小学校、 小学校 PTA
		高齢者の交通事故被害は、高齢者自身の交通安全への意識にもよるので、機会ごとに啓発活動(文書、講習等)を行い、意識向上、事故抑止を図る。	老人会 警察署(交番)
・地震等不意の災害発生時の安全対策 ...高齢者等災害弱者への救援対策		災害対策については、自主防災組織「城乾コミュニティ防災ネットワーク」を中心に推進 近所同士・自治会での共助意識の徹底をはかる。(啓発活動の推進、自治会での話し合い)  狭い路地等を避難路とする地区での対策を話し合う。(特に西平山町、福島町等の地区)	市 消防署(団)

目 標	現況・課題	まちづくりは、こんなことから	協力団体・機関
<p>安心、安全な「まち」に...</p>	<p>不意の地震等災害発生時の安全対策問題 ...高齢者等災害弱者への救援対策</p>	<p>災害時に助けを要する高齢者等を平常から把握し、災害発生時の適切な救援に役立てる。</p> <p>自主防災組織の円滑な活動を図るため、体制・備蓄資機材・運用等の日常的なチェック体制の整備。</p> <p>防災訓練を実施し、災害時の避難、救助はじめ対応の習得。</p>	
	<p>災害等に対応する地域整備</p>	<p>先年の台風に伴う高潮災害の経験から、福島町地先の防潮擁壁、西汐入川下流の護岸擁壁が整備されたが、さらに地域として、懸念される箇所を点検し、整備が必要と思われるところは、関係機関に対処を要請する。</p> <p>災害時の避難障害が懸念される狭い路地等の対策について、地元と行政機関を交え検討し、可能な処置・対応をはかる。</p>	<p>市、県</p> <p>市</p>
	<p>みんなで快適な生活環境を守る活動</p>	<p>「まち」が美しくなれば、人々の心も爽やかになる。一人ひとりが、適正なごみの分別・減量化を心がける。また、クリーン作戦等、地域の清掃できる「まちづくり」を実践する。</p>	<p>市</p>
<p>「ひと」も「まち」も元気に...</p>	<p>高齢化に伴う医療・介護</p>	<p>高齢者の人々が、心身ともに健康に過ごせるよう、次の活動を推進する。 健康講座・講習会への参加を促し、健康生活の意識啓発をはかる。</p> <p>高齢者同士の「いきいき体操」や「軽スポーツ」等への参加、心身のリフレッシュを勧める。</p> <p>定期健康診査の受診を呼びかけ、異常の早期発見等により、成人病予防、介護予防に役立て、健康維持を図る。</p>	<p>老人会</p> <p>市</p>

目 標	現況・課題	まちづくりは、こんなことから	協力団体・機関
「ひと」も「まち」も元気に...	商店街をはじめ「まち」の活性化	<p>「まち」の元気の源は、人々の健康、明るさ、そして、人々が集まり賑わうことに始まる。</p> <p>商店街（特に通町）では、いま「賑わい」復活のきっかけを模索しており、人の集まる場所（「秋寅の館」）催し（「みたから市」）などに知恵を絞っている。地域としても、「ちょっと誘って出かける」ことで盛り上がりをはかる。</p> <p>人々が集まり、交流の輪が広がり、地域の元気を呼び起こすきっかけとして、コミュニティ恒例の「ふれあいまつり」に「アイデア」を出し合い、人々の関心を高め、参加者の拡大をはかる。</p> <p>人口の減少・高齢化も「まち」の元気が失われる一因。 最近、地域周辺でも、マンションの開発がみられ、入居者は、現役世代の家庭が多いと思われる。これらの人々に地域（自治会等）への参加を働きかけ、「まち」の活力として取り込みをはかる。</p>	
「まち」に学ぼう...	「まち」に残るものからこの「まち」を学ぶ。	<p>時の流れとともに昔は薄れていくもの。地域の「まち」に残る先人の足跡などを忘れないことも必要。城乾小学校のホームページでは、校区の歴史探訪も掲載されている。平成18年度から始まった「こんぴら街道まち歩き」は、自分たちの「まち」を見直す手がかりにもなる。人を呼び込み地域活性化に役立てるとともに、地域の探訪行事として取り上げていく。</p>	市

地域の課題に、「こんなことから取り組んでは...」と考えて計画を策定したが、その成果、また、時間の経過とともに新たに生ずる課題等を考慮して、適時に計画の見直しを行い、将来にわたって地域住民のためになることを考えていくこととします。

**計画の成果は、地域の人々や関係機関・団体等の協力によって実るもの。**

**さあ、みんなで「自分たちのまちづくり」を進めましょう！**

【参 考】

「丸亀市都市計画マスタープラン（平成19年4月）」から

城乾地域のまちづくり計画は、地域の将来を住民の立場で考え、実現していくものですが、一方、丸亀市の一地域として、市の都市づくりの考え方も考慮する必要があるかと思えます。その意味で、「丸亀市都市計画マスタープラン（平成19年4月）概要版」から、関係すると思われるところを参考として抜粋しました。

丸亀市の将来像（丸亀市総合計画 将来像）

**自然と歴史が調和し、人が輝く田園文化都市**

都市づくりの基本的な方向

- 身近な自然と歴史文化を未来に伝えるまちを創る。
- 日常生活が営みやすくにぎわいと活力のあるまちを創る。
- 誰もが健康で安心して暮らせるまちを創る。
- 自治・自立のまちを創る。

市街地の整備方針

**中心市街地** = 歴史や文化を活かした、歩いて暮らせる利便性の高い中心市街地として、地区の再生を図る。

- ・歴史性を活かした港景観の整備
- ・木造密集市街地の住環境の向上
- ・地区内道路の整備と市街地の更新
- ・市街地再開発事業の見直し
- ・大手町地区の都市機能集積と維持、更新、再編
- ・丸亀城への眺望景観の確保

**旧丸亀市街化区域** = 既存の都市施設を活用した良好な市街地形成を図る。

- ・既存ストックを活用しつつ、都市計画道路の整備推進により良好な市街地形成
- ・都市計画道路土器上金倉線等の沿道における魅力的な市街地環境の形成
- ・良好な住環境形成

**臨海部** = 職住近接の魅力的な複合市街地の形成を図る。

- ・さぬき浜街道4車線化にあわせた緑地整備等

安全・安心まちづくりの方針

市の重要課題である水防対策をはじめ、土砂災害・都市防災・交通安全の各対策、防犯に配慮した都市施設整備等、総合的に市民の安全を守る観点で都市づくりの基本方針を定める。

- ・都市防災対策（市街地防火対策、防災機能の整備、拡充など）
- ・防犯に配慮した都市施設整備
- ・水防対策（高潮対策の推進、河川整備など）
- ・土砂災害対策（砂防、地すべり対策など）
- ・ニバーサルデザインに配慮した安全な道路等環境整備

（公共施設のバリアフリー化、交通安全対策）

市民の防災意識の向上
地域コミュニティ活動の支援

地域別整備方針

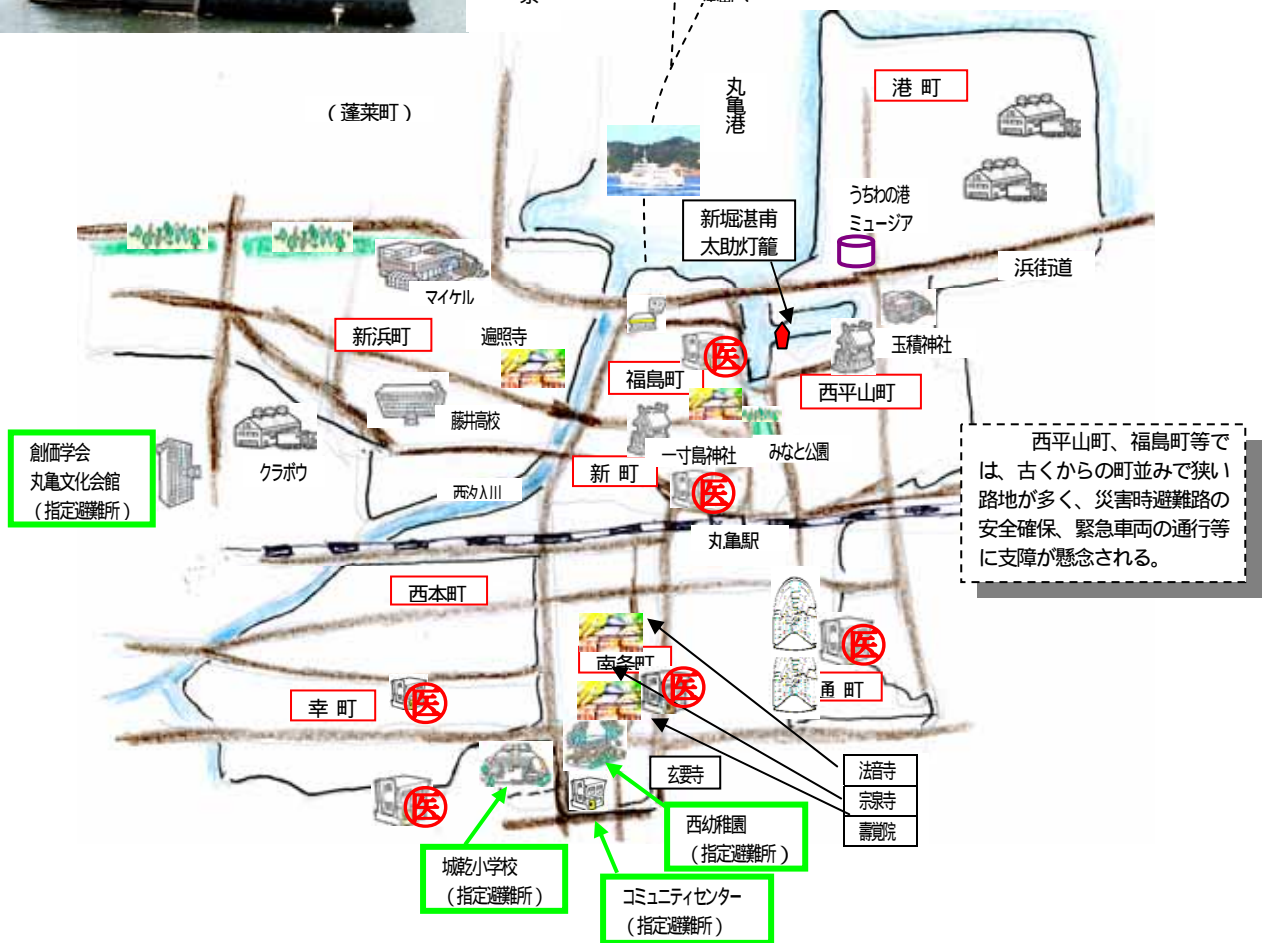
地域区分	将来像	基本方針	都市づくりの整備方針
中心市街地	歩いて暮らせる 歴史と文化の薫るまち	歴史と文化が薫る都市空間の形成 多世代でにぎわう街なか居住の促進 都市機能の集積した利便性の高いまちづくり	丸亀港高潮対策、浸水対策の推進 地区内道路整備にあわせ都市開発誘導 （福島地区）浜街道4車線化、高齢者対応住宅立地対策、都市防災対策推進など
周辺市街地 □新浜町、西本町、幸町等該当□	水と緑に恵まれたにぎわいのあるまち	にぎわいのある美しい街の形成 人にやさしい生活環境形成 水と緑に親しめる環境づくり	金倉川・西汐入川周辺の浸水対策推進、

# 私たちのまち 城乾地区は...



海の玄関に立つ太助灯籠の背景には丸亀城が...

港町や西平山町・福島町の北部では、標高が1.8～2.0mと低く、高潮や大規模地震に伴う津波等の影響を受ける懸念がある。現に平成16年夏の台風16号に伴う高潮災害で、この地域は広い範囲で被害を受けた。



西平山町、福島町等では、古くからの町並みで狭い路地が多く、災害時避難路の安全確保、緊急車両の通行等に支障が懸念される。

平成19年3月から始まった、「江戸気分で ちょこっとこびら街道」のまち歩きでは、太助灯籠から、通町(「秋実の館」に立ち寄り)を通り、法音寺・宗泉寺・壽覚院・玄要寺(京極家六代藩主 高朗候墓所等)を巡りつつ、南条町を抜ける道筋をたどるコースが設定されている。



人々に元気を、地域に活気を...  
例年賑わう「ふれあいまつり城乾」(2007・6・3)

【2008年1月 作成】

「港、ふれあいのまち城乾」

城 乾 コミュニティ

事務所：丸亀市南条町34（〒763-0046）

城乾コミュニティセンター

・FAX（0877）-21-0012